

各 位

会 社 名 株式会社 倉元 製作所
 代表者名 取締役社長 鈴木 忠 勝
 (登 録 銘 柄 ・ コ ー ド 5 2 1 6)
 問 合 せ 先
 役職・氏名 取締役 経 理 部 長 関 根 紀 幸
 電 話 0228 32 5111

平成 15 年 12 月期業績予想 (連結 ・ 単 独) の修正について

平成 15 年 8 月 22 日付当社「平成 15 年 12 月期中間決算短信」において発表いたしました平成 15 年 12 月期 (平成 15 年 1 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日) の業績予想 (連結 ・ 単 独) を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 平成 15 年 12 月期単独業績予想の修正

〔 単 独 〕

(単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	加 工 売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 (A)	31,000	14,000	700	800
今 回 予 想 (B)	30,603	13,789	503	238
増 減 額 (B - A)	397	211	197	562
増 減 率	1.3%	1.5%	28.1%	70.3%

「加工売上高」は、売上高から材料費を除いたもので利益との相関が高いため、継続して開示しております。

2 . 平成 15 年 12 月期連結業績予想の修正

〔 連 結 〕

(単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 (A)	37,000	950	830
今 回 予 想 (B)	36,616	681	234
増 減 額 (B - A)	384	269	596
増 減 率	1.0%	28.3%	71.8%

3 . 業績予想修正の理由

単 独

当社では、液晶テレビ・液晶モニター・ノートパソコン向け大型 TFT 液晶パネルの需要増に対応すべく、年初に第 5 世代ガラス基板加工設備の増強を行いました。上期においては、この大型基板の受注および生産が順調に推移しておりましたが、下期においては、大型化に伴うガラスメーカーのアウトプットの低下等により、当社における原材料である素板ガラス基板の調達がタイトな状態となり、「液晶ガラス基板加工品」は、計画比未達の結果となりました。

また、「カラーフィルタ (CF) 基板加工品」においては、液晶テレビをはじめとする液晶パネルの高品質化により、当社の顧客が CF 基板の外部調達化を進めた結果、当社 CF 基板表面処理加工の受注が減少しました。

一方、「成膜ガラス基板」におきましては、携帯電話のカラー化が海外で進展したことを受け、切断から成膜まで一貫加工できる強みを生かし、ITO 成膜加工の受注を拡大することができました。

これらの結果、通期の売上高は 306 億 3 百万円 (対前期比 14.6% 減) 操業度を示す加工売上高は 137 億 89 百万円 (対前期比 13.4% 増) となる見込みであります。

また、収益面におきましては、研究開発費等の増額などにより経常利益は 5 億 3 百万円、当期利益は、三陸南地震の災害損失 105 百万円および投資有価証券売却損 123 百万円の計上、ならびに繰延税金資産

計上の厳格適用により、2億38百万円となる見込みであります。

なお、利益配当金につきましては、1株あたり10円を予定しており、変更はございません。

連結

連結業績予想の修正は、単独予想の修正に伴うものであります。

4. ご参考：前期の実績

〔単独〕

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
平成 14 年 12 月期 (1月1日～12月31日)	35,848	576	1,411

〔連結〕

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
平成 14 年 12 月期 (1月1日～12月31日)	41,654	375	1,285

[業績等の予想に関する注意事項]

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化により、この資料に記載されている予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

以 上